

おまえざき

# 市議会だより

第60号

2019.10.11.12月

令和2年2月発行

- ② 議長あいさつ  
12月議会定例会
- ⑤ 委員会質疑
- ⑥ 一般質問
- ⑨ 委員会報告
- ⑫ 視察研修



◀学び歩きマップ



高松神社



みたらし  
御手洗の水源



ホタルの里

## 高松の由来

この地の村落は、高松山、とうじんやま 唐人山、ななつやま 七ツ山等の周りに、かどやむら 門屋村・しおばらしんでんむら 塩原新田村・こうどむら 合戸村ができた。中でも門屋村は最も古く弥生時代からの遺跡が残されている。701年（大宝元年）からこの地に鎮座する高松神社が建立された頃は、この三か村は大部分が神社の境内や領地内に存していた。

長い歴史を経て明治22年、町村制の施行によりこの三か村は池新田村と合併し、池新田西村と呼ばれていたが、その後池新田地区と高松地区に区分された。

# あけまして おめでとうございませす



議長  
杉浦謙二

新年あけましておめでとうございませす。皆様方におかれましては、輝かしい新春をご家族お揃いで健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃は御前崎市議会に対しまして深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、皇位継承に伴い、元号が「令和」に改まり、新たな時代を迎えることとなりました。また、ラグビーワールドカップが日本で開催、消費税率10パーセント開始、東日本で台風や大雨による被害が発生した年でもありました。このような中、一年の世相の漢字一字に「令」が選ばれました。

市内でもラグビーワールドカップの出場チームのジョージアと南アフリカが公認キャンプ地として当市に滞在し、南アフリカチームは浜岡北小を訪れ、ラグビーを通して交流を図ることができました。

県内に目を向けますと、夏季東京オリンピック・パラリンピックの自転車競技が開催されます。世界の注目を集める国際大会が予定されており、非常に楽しみにしています。

さて近年、社会問題として「人口減少社

会」が大きくクローズアップされる中、地方においては、その具体的対策の必要性が求められてきました。

市では将来にわたり活力ある地域社会を維持していくため、「第2次総合計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を進める中で、市議会としても個々の施策に対する議論を重ね、定期的にその評価を行うっていく必要があると感じています。

市議会としましては、市民の皆様身近な議会となるよう、議員一人ひとりが研鑽に努め、議員の果たす役割を再確認し、市民の立場で皆様の声を行政に届け、適正な行政運営の監視役として、市の発展と住民福祉の向上に全力で取り組む決意であります。

結びに、市民の皆様にはより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、この一年が皆様にとりまして、良い年でありますよう心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 12月議会定例会

12月定例会を11月25日から12月19日までの25日間の会期で開会しました。

### 12月議会定例会で審議した議案等

議案番号	件名	概要	審議結果
議案第21号	御前崎市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告による一般職及び特別職等の手当支給月数引上げに合わせ、市議会議員の期末手当支給月数を0.05月/年引上げるための条例改正	全員一致で可決
議案第22号	御前崎市特別職の職員で常勤のものとの給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告による一般職の手当支給月数引上げに合わせ、特別職（市長、副市長）の期末手当支給月数を0.05月/年引上げるための条例改正	全員一致で可決
議案第23号	御前崎市教育委員会の教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告による一般職の手当支給月数引上げに合わせ、教育長の期末手当支給月数を0.05月/年引上げるための条例改正	全員一致で可決

議案番号	件名	概要	審議結果
議案 第 24 号	御前崎市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告により、若年層に重点を置きながら、俸給表の水準引上げ（平均 0.1%）及び、勤勉手当の支給月数を 0.05 月 / 年引上げるための条例改正	全員一致で 可決
議案 第 25 号	御前崎市職員の退職管理に関する条例の制定について	地方公務員法に規定された退職管理の適正化の趣旨を踏まえ、営利企業等に再就職した市元職員が、国の部課長級の職に相当する職及び離職前 5 年以前に就いていた間の職務に関し、離職後 2 年間、市現職職員への要求または依頼を規制した条例の制定	全員一致で 可決
議案 第 26 号	御前崎市地区センター条例の制定について	市内 8 地区に設置している公民館を廃止し、8 地区に公の施設として新たに、地域住民のコミュニティ活動推進の拠点として、広く住民の利用に供するための「地区センター」を設置するための条例の制定	全員一致で 可決
議案 第 27 号	御前崎市地区センター運営協議会条例の制定について	地区センターの運営主体となる組織「地区センター運営協議会」に関し、必要な事項を定める条例の制定	全員一致で 可決
議案 第 28 号	御前崎市地区センター体育施設設置及び管理条例の制定について	地区センターに設置している運動場など各体育施設の設置及び管理について、必要な事項を定める条例の制定	全員一致で 可決
議案 第 29 号	御前崎市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	水道法の一部改正に伴い、指定給水装置工事事業者制度への指定の更新制が導入されたことにより、指定の更新に係る手数料を追加する条例の一部改正	全員一致で 可決
議案 第 30 号	御前崎市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律が公布されたことに伴い、成年被後見人であることを理由に不当に差別されないようにするため、国が定める標準下水道条例の改正の趣旨に基づく条例の一部改正	全員一致で 可決
議案 第 31 号	市道の路線認定及び変更について	道路法の規定に基づき、池新田地区大山地内の市道 1821 号線を認定し、また、新野地区新野西地内の市道 6266 号線について延長及び終点の変更を行うもの	全員一致で 可決
議案 第 32 号	御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について（御前崎市民会館）	指定管理者を「公益財団法人 御前崎市振興公社」	全員一致で 可決
議案 第 33 号	御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について（御前崎市文化会館）	指定管理者を「公益財団法人 御前崎市振興公社」	全員一致で 可決

議案番号	件名	概要	審議結果
議案第34号	御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について（御前崎市浜岡総合運動場）	指定管理者を「公益財団法人 御前崎市振興公社」	全員一致で可決
議案第35号	御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について（御前崎市御前崎運動場）	指定管理者を「公益財団法人 御前崎市振興公社」	全員一致で可決
議案第36号	御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について（御前崎市民プール）	指定管理者を「公益財団法人 御前崎市振興公社」	全員一致で可決
議案第37号	御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について（御前崎市B&G海洋センター）	指定管理者を「公益財団法人 御前崎市振興公社」	全員一致で可決
議案第38号	御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について（御前崎市障害者自立支援施設 御前崎つばき作業所）	指定管理者を「社会福祉法人 草笛の会」	全員一致で可決
議案第39号	人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	人権擁護委員の候補者に <sup>おおいし</sup> 大石 <sup>こ</sup> せつ子氏（白羽地区）を推薦	全員一致で可決
議案第40号	令和元年度御前崎市一般会計予算の補正（第4号）について	小学校運営支援事業の教師用教科書・指導書の購入経費増額や給食センター建設工事に係る建築工事の前払い金の計上など6億2,158万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を177億6,424万1千円とする補正	賛成多数で可決
議案第41号	令和元年度御前崎市国民健康保険特別会計予算の補正（第2号）について	国民健康保険事業費納付金確定による補正及び療養給付費等交付金確定による国への返納金などに115万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を41億2,145万3千円とする補正	賛成多数で可決
報告第10号	御前崎まちづくり株式会社経営状況の報告について	平成30年8月1日から令和元年7月31日までの決算報告で、302万1,528円の純損失を計上	

◆賛否が分かれた議案

議案番号	案件・結果 (賛成=○ 反対=×)	議員名(議席順)															
		河原崎恵士	渥美昌裕	櫻井勝	植田浩之	齋藤洋	松下久己	水野克尚	大澤博克	若杉泰彦	大澤満	増田雅伸	清水澄夫	杉浦謙二	阿南澄男		
議案第40号	令和元年度御前崎市一般会計予算の補正（第4号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	※	○
議案第41号	令和元年度御前崎市国民健康保険特別会計予算の補正（第2号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	※	○

※議長は採決には加われません。

# 委員会 質疑

## 総務経済委員会

令和元年12月9日に委員会を開催しました。委員会での質疑は次のとおりです。

### 【議案第26号について】

**問** 各地区センターの防災、福祉、コミュニティなどの各部門長の身分は

**答** 各部門長は、各地区の会則で決めます。

**問** 各地区センターの事業は、各地区の会則で定めるのか

**答** 各地区で決めていくという考え方です。

**問** 公民館条例で禁止となっていた宗教活動、営利活動などは、センターになれば行えるのか

**答** 今後規則を定めますので、その中で検討していきます。

**問** 部門長などの報酬はどうなるのか。また、地区でばらつきが出るので、市で定額を定めることはできるのか

**答** 交付金の枠の中で考えていただくこととなります。

**問** 各部門の責任者は、兼任することはできるのか

**答** 将来的には兼任ではなく、多くの人が地区センターの運営に携わっていただきたいので、専任をお願いしていきます。

**問** 市は地区センターに必要な支援をどのように行うかを示すべきでは

**答** 運営がうまくいくまでは支援をし、何か問題があれば、地域に向き一緒になって考えていきたいと思えます。

**問** 地区センターの予算や補助金はどのように考えているのか

**答** 基本的には、大きな枠の交付金に一本化し、地区での自由度を高めたい。まずは今までの金額に大きな差が出ないように、同規模の予算にしたいと考えています。

**問** 規則はいつできるのか

**答** 案はできています。これから各地区の意見を聞きつつ、細かいところは決めていきます。

**問** 【議案第28号について】 体育施設使用料を以前と同額にした理由は

**答** センター化によって市民サービスの低下にならないように、据え置きにしました。

その後の委員間討議では、議案第26号から議案第28号までの3議案について、次の意見書提出が決定しました。  
「御前崎市地区センターに関する3条例の規則については、各地区の意見・要望を充分反映して制定するよう求める」



### 地区センターに移行して変わること

- 社会教育の実践の場から、地域づくり活動の場へ利用範囲が拡大します。
- 市窓口は、教育委員会から市長部局（総務部）に変更となります。
- 地区センターの運営に関する『地区センター運営協議会（仮称）』を設立することにより、地域と行政が協働した取り組みが広がります。

### 地区センターに移行しても変わらないこと

- 施設の管理は、御前崎市で行います。（公設公営）
- 生涯学習などの講座は各地区センターで引き続き実施します。
- クラブやサークルなどの一般利用は、今まで通りです。

# 一般質問

## 5名が登壇 市政を問う

\*この一般質問は12月5日に行われたものです。



新野川の現状

**問** 日本の気象状況が、年々様変わりし、毎年風水害の危険にさらされる現状をどう捉え、対策を立てているのか。平成30年の長時間停電を踏まえ、対応策は

**答** 市内の水路及び河川の本年度の整備は、4河川・1水路で改修工事を行っております。県管理の河川については、すでに河床掘削など適切な維持管理を実施していただいております。停電対策については、トタンやビニールなどの飛散物対策を依頼する広報を繰り返し呼びかけました。中

### 一般質問

・市の水害対策・停電対策について  
・コミュニティセンターについて



渥美昌裕

電との協議については、市災害対策本部とのホットラインの確認、アプリの開発や周知方法、病院など公共施設の復旧優先順位の調整などを行っております。

**問** 令和2年4月からの公民館への進捗状況、将来像は

**答** 現在、各地区で公民館長が中心となり、事業計画や会則、協議会の役員の人選などについて検討しております。条例などの関連法案については、本議会に上程しています。令和2年度の予算編成作業および、4月の地区センター移行に向けた準備を進めています。地区センターの将来像については、今までの公民館活動を維持しつつ、「地域と行政の協働のまちづくりの推進」、「地域の実情に合った取り組みのできる活動拠点」という地区センターの目指す姿に向けて、地域とともに新しいまちづくりを進めてまいります。

一般質問

・スポーツ振興の拡充に向けての  
施設整備について



植田浩之

**問** スポーツを振興するにあたって、利用者に気持ちよく利用してもらうために、施設

者も増えてきています。女性用トイレ対策も必要ではないでしょうか

環境は整えておかないといけません。その中で今回は浜岡球場の環境整備について伺います。球場の北側駐車場から球場に入ってくる場合、現在、西側道路球場側に歩道がないため、利用者が車道を通行している状態です。駐車場から球場入口までは歩道を設置するべきではないでしょうか。また、球場入口の道路西側に荒廃地があり、季節によっては草木の葉や種子などが球場に舞い込んで来て困っているようですし、景観も非常に悪い状態です。草木の整備を所有者に依頼するとか、駐車場として利用を考えたただければよいかと考えます。

もう一つはトイレの問題です。大きな大会の場合は選手だけでなく大勢の観衆が来場します。高校野球県大会の時は、現在の数では足りず仮設トイレを設置していると聞いています。近年女性の観戦

**答** 当市では総合運動場を始めるなど多くのスポーツ施設を整備し、市民の皆さんがスポーツに

取り組む環境を整備しています。浜岡球場についても、県内外のチームにより、練習試合や合宿に活用していただくなど当市の中核となるスポーツ施設と認識しています。球場西側道路の歩道整備については、道路西側部分に歩道が整備されていることから、そちら側を利用していただければと考えられています。球場西側の土地については、当施設のみに限らず隣接地にも影響を及ぼしていることから、所有者に土地の適正管理を引き続きお願いしていきます。トイレの整備については、現在、すべて男女別トイレとなっており、高校野球県大会では、球場北側駐車場へ男女別仮設トイレを設置し、利用者への利便性を図りました。

一般質問

・認知症施策の推進について



櫻井 勝

**問** 2015年に「新オレンジプラン」が策定されました。そこで本市の認知症予防の現状と、具体的な取り組みを伺う

チェックの結果により、認知症予防教室を開催し、症状の進行を防ぎ、改善を図っています。

**答** 平成31年4月1日現在、本市の高齢化率は29・2%で

**問** 2025年本市高齢者の認知症者推定人数はどれくらいか

全国的な傾向と同じく認知症の人も年々増加しています。このような中、「新オレンジプラン」による取り組みを進めてきましたが、6月にはさらに踏み込んだ「認知症施策推進大綱」に沿った施策を実施していくことになりました。この大綱の基本的な考え方は、認知症の人が尊厳と希望をもって、症状がない人と同じ社会で共に生きる「共生」と症状を遅らせることや進行を緩やかにする「予防」を両輪として施策を推進していくものです。


**答** 国の推計によると、高齢者の約5人に1人とされているため、単純に本市にあてはめると、1,900人ほどになります。

「共生」の面では、認知症講演会、小中学生を含む認知症サポーター養成講座の開催、行方不明者などの早期発見のため、オレンジシール・オレンジメールの配信をします。「予防」の面では、高齢者の心身や生活状態を把握するおたっしや健康

**問** 認知症サポーターの数、またオレンジメールとシールの数は

令和元年11月末時点で4,550人、小中学生のキッズサポーターは555人です。10月から始めたオレンジメール登録者数は105人、オレンジシール交付者数は21人です。

次のアドレスに直接空メールを送信してください。  
omaezaki-entry@tokyoanpi.sbs-infosys.com  
右のQRコードからメールアドレスを読み取ることも可能です。  
不明な点は、高齢者支援課におたずねください。



オレンジメール登録用QRコード

一般質問

・これからの財政計画について



水野克尚

**問**

9月定例会の決算審査において、御前崎市の財政運営が大変厳しいことがわかりました。

約170億円の予算の内、歳入の約20億円が財政調整基金の取り崩しなどにより繰り入れました。この基金残高は平成27年まで増加していましたが、その後、毎年減少となり、令和元年度残高は最低必要額の30億円に届きそうです。歳入確保について市長の考えは

**答**

新規財源の確保や事業見直しによる歳出削減が急務であり、使用料や手数料などを精査し、上下水道料金の見直しなどにも着手していきます。

**問**

歳出についてケーブルテレビや下水道など近隣市にない施設もあり、一概に予算規模が多いとも言いきませんが、削減は待ったなしです。各種団体や個人への補助金、交付金も削減が必需要で、市立病院、上下水道、振興公社やゴミ焼却場へ手をつける必要もあります。市長の考えは

**答**

市から交付する補助金や交付金など効果を検証しながら指針などを踏まえ見直します。また、維持修繕に多額な費用を要する公共施設についても、総合管理計画に沿って施設の数と規模の適正化を進めていきます。

**問**

御前崎総合病院への支出は16億円強と一般会計の約10分の1を占めています。総合病院は近隣4市にあり、医師と患者を取り合っています。厚生労働省は公立病院の再編について議論すべきと実名をあげて公表されました。批判もありますが、医師などの不足解消と質の向上を図る意味で絶対の好機と捉え広域化を検討すべきと考えますが市長の考えは

**答**

市立病院は原子力発電所立地に基づき、万一の際に医療を提供する役目もあると認識しています。現状、近隣病院との再編の話はなく、独自で運営していく体制を作りたいと考えます。

一般質問

- ・大栄環境焼却場誘致について
- ・災害における対策について
- ・電力会社からの資金還流について



清水澄夫

**問**

市長は住民投票を支持する発言を繰り返してきた。開票された段階で、その結果に関わらず、住民の立場で行動を貫く決意は有るか、また、捺印は誰かに相談したか

**答**

住民投票条例では市長は過半数の意思を尊重するようになっていく。開票結果を踏まえ、然るべき対応を取っていきます。捺印については住民の皆さんには大変な心配をお掛けした。捺印は私の判断で行いました。

**問**

台風15、19号は御前崎市を直撃し、住民の不安は深刻だった。豪雨による土砂崩れ、川の氾濫で住宅や学校、介護施設など警戒すべき箇所がある。対策は取れているか

**答**

近年、台風やゲリラ豪雨で大規模な水害が全国で発生し、本市でも市民の生命と財産を守る上で、水害対策は重要です。土砂災害については警戒地域を指定してハザードマップや防災マッ

**問**

を配布し啓発しています。

**問**

関西電力の社長他20人に3億2千万円の金品受領問題が発覚し国民の怒りがかついている。これは電力会社、下請け業者、行政の癒着が発覚したものだ。これらの問題は全国すべての電力会社で同様の問題があるのではないかと不信を募らせている。浜岡原発の建設、増設時には資金還流が無かったか調査すべきだ。また、浜岡原発は1、2号機の廃炉工事が進められている。この点についても調査すべきでは

**答**

関西電力における金品授受問題を受け、中部電力に状況確認を行い「同様な事例は無かった」との報告を受けた。また、中部電力では、11月26日に「中部電力グループ贈収賄・腐敗防止方針」が制定され、コンプライアンスの徹底に向けて取り組んでいる。そのため、市としては調査する必要はないと考えています。



# 委員会報告

## 予算決算審査特別委員会

令和元年12月10日に、(1)御前崎市の施設に係る指定管理者の指定「市民会館」他6議案、(2)一般会計予算の補正、(3)国民健康保険特別会計予算の補正、全9議案について委員会を開催し全議案を可決しました。

委員会での主な意見と答弁は以下のとおりです。

**問** 市民会館の利用率が良くないが積極的な運営ができるよう指導・要望ができるか

**答** 振興公社と申請段階で面談を行っている中で事業の改善を図っています。

**問** 財政が厳しい中で市民会館と文化会館の2館がある。使用目的をはっきりさせるべきではないか

**答** 両館には客席数の違い及び市民会館では音響反射板などの

設備を活かした事業を展開していきます。

**問** 市民プールのランニングマシーンが故障して利用者から不満が出ている。レンタルやリースの対応はできないか

**答** 来年度予算で対応したい。

**問** すぐに対応するべきだ

**答** リース、レンタルは検討します。

**問** 生活困窮者自立支援法の利用者は何人か

**答** 人数は答えられないが毎年数件の相談を受けています。

**問** 相談内容は

**答** 病気や退職したことによる生活困窮への不安ですが、どのような支援ができるか一緒に考えています。

その後の委員会討議で意見はありませんでした。

また、令和元年11月18日に意見書を提出し、その17件の意見に対して、12月19日の委員会において、担当部局から対応状況及び考え方などの報告を受けました。委員会では翌年度以降の予算案にどう反映していくのか議論がされました。17件の意見は、表のとおりです。

令和元年度 予算決算審査特別委員会意見書一覧表

令和元年 11月18日提出

所管部	所管課	意見大項目	意見小項目
総務部	総務課	全庁的なペーパーレス化推進	無線LAN及びタブレット導入
	財政課	全庁的な車両管理体制整備	一元的な集中管理
	企画政策課	地域協働バス運営の継続	ボランティア運転員の高齢化対策
シティプロモーション目的達成		いつまでも住み続けたいまちづくり醸成	
市民部	市民課	マイナンバーカード普及	全市民取得対策
危機管理部	危機管理課	災害備蓄品のアレルギー対策	市民への周知徹底対策
		防災訓練参加率の向上	全市的な訓練内容ができる対策
建設経済部	商工観光課	客船誘致に伴う商品開発	近隣市を巻き込んだ観光ツアー企画
	建設課	防潮堤整備の早期着手	早期の工程計画立案及び公表
		生活環境整備の迅速化	執行手順の見直し
教育委員会	教育総務課	エネルギー教育の拡充	小学生への教育推進
	学校教育課	小中学校への学力向上策	外部より指導者招聘
	社会教育課	公民館のセンター化対策	事業内容や対象人数への考慮
		清川芸術館の運営対策	展示及び周知等あり方の見直し
市立病院	病院管理課	スポーツ振興の拡充	施設の安全使用のための整備推進
		病院専門職確保対策	奨学金制度の早期対応
		病院運営管理費対策	2025年の高齢者増大までの対応策

## 原子力対策 特別委員会

令和元年12月11日に委員会を開催し、浜岡原子力発電所の状況について、中部電力(株)より報告を受けました。

### 1 原子力災害対策の取り組みについて

原子力災害対策の充実に向け、重大事故に至らない安全対策を行うことに加え、次の2点について日ごろより改善・充実強化を図っているとの説明を受けました。

1点目は、事故の収束活動について、緊急時の組織を再編し、要員を600名まで増員して対応します。また、初動体制のスペシャリストチームを編成し、365日体制で発電所に常駐すべく準備を進めています。

2点目は、避難行動要支援者の安全確保に関する取り組みについて、避難に必要な車両の配備や避難支援を行う体制の整備を進めています。避難行動要支援者の移送支援に関する教育や他機関との連携訓練を積み重ね、実効性向上を目指し取り組んでいる状況です。

## 総合開発計画策定 特別委員会

令和元年12月11日に委員会を開催し、執行部から説明及び報告を受けました。

### 1 第2次御前崎市総合計画(実施計画)について

新規事業(一千万円以上)42事業について説明を受けました。

○ 静岡県総合防災訓練が菊川市と共同開催となるため地震対策事業

○ 消防本部所管の公用車購入事業

○ 観光支援として「灯台ワールドサミット事業」

○ 地区センター化に伴う運営交付金事業

などが実施予定となります。

### 2 新給食センター建設について

現在、確認申請を提出し設計内容の精査を行っています。今後の発注については建築工事、電気工事、設備工事に分離発注し、2月に公告、開札を3月に行い、市議会2月定例会にて承認後契約したと考えています。

### 3 浜岡中学校建設について

令和元年11月22日に起工式が終了し、本格的な工事に入りました。

前回説明のあったアスベストの解体工事について、現場などの精査の結果、工事費が算出されたため報告を受けました。

場内の排水について、公共事業ではありませんが、一般物件と同様に土地利用委員会の意見を踏まえ、浸透式調整池を設置する方針としました。

工事の行程については、基礎工事に入り、各階工事を進めています。当初の予定通り、令和3年2月末に引渡を受け、3年生に少しでも新校舎での授業を受けてもらう予定です。



給食センター完成予想図



浜岡中学校完成予想図



浜岡中学校起工式

**産業廃棄物処理対策等調査  
特別委員会**

令和元年9月26日より12月10日までの期間、委員会を開催し調査研究をしました。これまでの経緯などは次のとおりです。

**9月26日** 総務課より住民投票条例施行規則について説明を受け、質疑応答を行いました。

**9月26日** 懇談会において、これからの委員会の進め方について協議しました。住民投票時に有権者のための判断材料として関係者から意見を聞くことになりました。

**10月21日** 懇談会において、参考人招致の法的根拠や土地利用について協議しました。

**11月7日** 委員会への参考人招致について委員間協議を行いました。投票前の参考人として財産区管理会、財産区管理者（市長）、推進協議会、大栄環境(株)、事業に伴う関係部署職員、また投票後には市長及び大栄環境(株)などの選定について議論しました。委員からは、財産区運営のあり方や国の法律、県条例の考え方を議論した上で、最初に市環境課、商工観光課

より説明を求める。次に参考人招致をして意見などの質疑応答を行うことで決定をしました。

**11月29日** 参考人として土地賃貸借契約時の財産区管理委員2名及び市民グループ9グループに出席していただきました。財産区役員からは企業進出及び土地賃貸借契約の経緯などをうかがいました。市民グループからは、産廃処理施設建設に反対する理由や住民投票への参加の必要性及び環境アセスメントに対する疑問などの意見が出され質疑を行いました。なお、推進協議会は欠席でした。

**12月10日** 住民投票結果について市長にこれからの対応について質疑応答を行いました。冒頭、市長から建設反対票が9割あったので民意を重く受け止め、大栄環境(株)へは事業撤退を要請し、池新田財産区へは土地賃貸借契約の解除を申し入れる。また投票結果などについて川勝知事に報告すると発言した。その後の委員からの質問では、市長の具体的行動について質問した。事業者への撤退には法的根拠に基づいた理由の必要性や、土地賃貸借契約の解除については、財産区管理者としての市長が財産区へ同意を求める手順が正当

である。土地利用手続きについては市長の考えをしっかりと出すべきなどの意見がありました。また、次

回は大栄環境(株)を参考人招致することを決定しました。

**御前崎市における産業廃棄物処理施設の設置についての住民投票に係る主な経過**

年月日	内 容	年月日	内 容
令和元年 6月 19日	御前崎市条例制定請求書の提出	9月 5日	9月議会定例会 (委員長報告、討論、採決) 採決 (修正案 賛成11 反対2)
6月 25日	議会運営委員会において条例案の説明	9月 26日	第9回特別委員会 (条例施行規則について)
6月 27日	6月議会定例会 (条例案の提出・産業廃棄物処理対策等調査特別委員会に付託) 第1回特別委員会 (継続審査の協議) 6月議会定例会 (閉会中の継続審査) 第2回特別委員会 (意見陳述について)	11月 7日	第10回特別委員会 (今後の調査事項について)
7月 8日	第3回特別委員会 (意見陳述、市長への質疑)	11月 18日	第11回特別委員会 (土地賃貸借契約に至った経緯と責務について)
7月 19日	第4回特別委員会 (住民投票制度について)	11月 21日	第12回特別委員会 (参考人招致に関する抗議文について)
7月 26日	第5回特別委員会 (環境アセスメントについて)	11月 25日	第13回特別委員会 (産廃業に対する行政指導、経済効果等について)
8月 2日	第6回特別委員会 (条例案の説明・質疑)	11月 29日	第14回特別委員会 (参考人招致：元財産区管理委員2名、建設反対等各団体9名)
8月 16日	第7回特別委員会 (条例修正案の提出・質疑)	12月 8日	住民投票実施 投票率 60.81% (賛成1,565票 反対14,409票)
8月 26日	第8回特別委員会 (条例再修正案の提出) 委員会採決 (修正案 賛成10、反対3)	12月 10日	第15回特別委員会 (住民投票結果について 市長質疑)
9月 2日	議会運営委員会において追加日程の協議		

# 視察研修

## 総務経済委員会

視察日 令和元年10月1日(火)

3日(木)

### 視察先及び内容

○(株)あいコムこうか(滋賀県甲賀市)

甲賀市では地域情報化基盤整備事業により市内全域に市独自の光ファイバーを整備しています。音声放送をはじめケーブルテレビ、高速インターネット、IP電話を利用することにより、暮らしの安心サービスとして、見守り、買い物支援、電子広報、地域の情報、災害・避難情報の活用について説明を受けました。

○サテライトオフィス【旧政海旅館】

(徳島県三好市)

三好市では市内全域に光ケーブルを整備してサテライトオフィス誘致を行い、良質な雇用の創出を図ることで地方創生を目指しています。実現するために誘致セミナーを開催したり支援制度を充実したりしていると説明を受けました。



サテライトオフィス【ナカガワ・アド株】



サテライトオフィス【旧政海旅館】

○サテライトオフィス【森邸】

【ナカガワ・アド株】

(徳島県美馬市)

美馬市では地方が持つ自然などの強みを生かし、テレワーク拠点を活用した各種事業を展開しています。地元事業者と連携して業務を行う企業が多く、都市部からの移住や地元雇用の創出がうまれていると説明を受けました。

## 文教厚生委員会

視察日 令和元年11月11日(月)

13日(水)

### 視察先及び内容

○環境エネルギーセンター

(滋賀県近江八幡市)

平成28年8月に、一般廃棄物処理施設では滋賀県初となるDBO方式(公設民営方式)を採用し、民間事業者のノウハウにより、経済性に優れた安全・安心な施設の整備と管理運営を行っている。施設整備費の総額は60億7千万円で、交付金22億5千万円を充当、1トン当たりの処理費は41,930円(建設費を含め20年契約)。現在隣接地に余熱利用



施設の説明を受ける

の温水プールが整備され、また地元への優遇策として10年間で1億円が支出されるとの説明がありました。

○就学前施設再編計画について

(兵庫県伊丹市)

公立幼稚園園児数の減少、公立保育所の老朽化対策として、ブロックごとに集約し、3保育所を新築移転させ公立の幼保連携型認定こども園として整備する。跡地の土地を売却することにより約40億円の財源が生まれ、歳出は10年間で約35億円が必要と見込んでいる。整備費は1園約11億円掛かるが起債で対応する。幼児教育の質の向上と充実を図っていきたい、との説明を受けました。



伊丹市議会副議長あいさつ

○さくらりサイクルセンター

(三重県伊賀市)

当該施設は伊賀市北部地域の可燃ごみを処理しRDF化(廃棄物固形燃料化)する施設として平成22年に完成した。しかし、処理コストが掛かり過ぎ、またRDFを使用する発電所が令和元年9月に終了することから、リサイクル部門を残し施設の稼働を止め、可燃ごみの処理を民間委託することにした。現在は、三重中央開発(株)に移送する仮置き場として使用している。民間委託は一時的なもので、今後は、伊賀南部地域との広域化処理を検討との説明を受けました。

その後、三重中央開発(株)三重リサイクルセンターを見学しました。



伊賀市議会議長あいさつ

## 議会 TOPICS

### 静岡県西部地区市議会議長協議会

開催日 令和元年10月10日(木)  
会場 御前崎市観光物産会館  
「なぶら館」

静岡県西部地区市議会議長協議会が、御前崎市を会場に開催されました。西部地区11市の議長・副議長が出席し、県市議会議長会定期総会へ提出する国への要望事項「交通安全対策の総合的な充実強化について」など2議案を審議し、いずれも原案どおり可決されました。



県西部地区市議会議長協議会：渚の交番視察

### 議会交流訪問 (長野県中野市)

訪問日 令和元年10月26日(土)  
27日(日)  
訪問先 長野県中野市  
(信州中野おごっそフェア)

原子力災害時において広域避難先となっている北信地域の中野市議会と交流を深めるため、防災広場で開催された「信州中野おごっそフェア」を視察しました。おごっそフェアは、中野市の魅力を広く発信し、地域経済の活性化につなげようと4回目の開催になります。また、台風19号で千曲川が氾濫し大変な被害が出た長野市穂保地区なども視察してきました。



信州中野おごっそフェア

### 第157回静岡県市議会議長会定期総会

開催日 令和元年11月5日(火)  
会場 静岡カントリー浜岡コース&ホテル

第157回静岡県市議会議長会定期総会が、御前崎市を会場に開催されました。県下の23市の議長・副議長が出席し、富士市から提出された国への要望事項「外国人材の受入れ・共生に向けた態勢整備への支援について」など6議案を審議し、いずれも原案どおり可決されました。総会終了後、浜岡原子力発電所を視察しました。



県市議会議長会定期総会：杉浦議長挨拶

# 2月定例会の予定

2月定例会は、2月20日(木)から3月19日(木)までの29日間の会期で開催される予定です。

日程は、変更になる場合がありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

- 2月 20日(木) 本会議(議案説明)
- 3月 4日(水) 本会議(質疑・一般質問)
- 5日(木) 本会議(一般質問)
- 6日(金) 総務経済委員会  
文教厚生委員会
- 9日(月) 予算決算審査特別委員会
- 10日(火) 予算決算審査特別委員会
- 11日(水) 予算決算審査特別委員会
- 12日(木) 特別委員会
- 19日(木) 本会議(質疑・討論・採決)



御前崎市マスコットキャラクター  
ふうちゃん

問い合わせ先

## 御前崎市議会 議会広報特別委員会(議会事務局)

〒437-1692 静岡県御前崎市池新田 5585

TEL(NTT・CATV) : 0537-85-1115 / FAX : 0537-85-1139

E-mail : gikai@city.omaezaki.shizuoka.jp



御前崎市マスコットキャラクター  
なみまる

## 議会を傍聴しませんか?

- 市議会はどこでも傍聴することができます。傍聴定員は34名です。超過した場合は別室でのテレビ傍聴となります。
- 耳の聞こえにくい方のためにイヤホン型の補聴支援用機器があります。(3人分)
- 事前予約は必要ありません。当日、市役所4階議会事務局へお越しください。

## ◎傍聴に来られない方も市議会の様子をご覧ください!!

本会議・予算決算審査特別委員会・産業廃棄物処理対策等調査特別委員会の内容は、おまえざきケーブルテレビの市民チャンネルのデジタル122チャンネルで放映されます。放送日については、その都度、音声告知放送にてお知らせします。

## 市民の皆様の声をお寄せください

議会だより作成や編集に役立てるため、議会だよりの感想をお聞かせください。電話・FAX・郵送・Eメールで受付します。

◇住所・氏名・電話番号を明記してください。

◇お便りの返却はいたしません。

### 12月

19日 日  
18日 日  
17日 日  
11日 日  
10日 日  
9日 日  
5日 日  
3日 日

- 議会運営委員会
- 12月議会定例会本会議(一般質問)
- 総務経済委員会
- 文教厚生委員会
- 予算決算審査特別委員会
- 産業廃棄物処理対策等調査特別委員会
- 総合開発計画策定特別委員会
- 原子力対策特別委員会
- 議会運営委員会
- 御前崎市牧之原市学校組合議会定例会
- 12月議会定例会本会議(最終日)
- 議会全員協議会
- 予算決算審査特別委員会

### 11月

29日 日  
25日 日  
21日 日  
19日 日  
18日 日  
16日 日  
14日 日  
11日 日  
7日 日  
6日 日  
5日 日  
1日 日

- 議会運営委員会
- 第15回地域医療政策セミナー
- 第285回東海市議会議員会理事會
- 第157回静岡県市議会議員会定期総会
- 全国市議会議長会第107回評議員会
- 産業廃棄物処理対策等調査特別委員会
- 文教厚生委員会視察研修(13日)
- 防衛省全国情報施設協議会役員会及び要望活動
- 長野県高森町訪問(高森まるごと収穫祭)
- 議会全員協議会
- 予算決算審査特別委員会
- 産業廃棄物処理対策等調査特別委員会
- 議会運営委員会
- 中東地区市議会議長協議会
- 産業廃棄物処理対策等調査特別委員会
- 浜岡原子力発電所安全対策協議会浜岡原子力発電所視察
- 12月議会定例会本会議(初日)
- 産業廃棄物処理対策等調査特別委員会
- 産業廃棄物処理対策等調査特別委員会

### 10月

30日 日  
28日 日  
26日 日  
25日 日  
23日 日  
21日 日  
18日 日  
17日 日  
10日 日  
8日 日  
7日 日  
1日 日

- 総務経済委員会視察研修(3日)
- 議会運営委員会
- 牧之原市御前崎市広域施設組合議会定例会
- 静岡県西部地区市議会議長協議会
- 議会広報特別委員会
- 志太榛原五市二町議会議長連絡協議会議員研修会
- 議会全員協議会
- 予算決算審査特別委員会
- 全国市議会議長会基地協議会東海部会定期総会(24日)
- 全国原子力発電所所在市町村協議会全体会議(国との意見交換会)
- 議会広報特別委員会
- 相寿園管理組合議会定例会
- 長野県中野市交流訪問(27日)
- 全国原子力発電所立地市町村議会議長会役員会
- 中東遠看護専門学校組合議会定例会
- 全国市議会議長会研究フォーラム(31日)

議会のいろは

編集  
議会広報特別委員会

委員長 松下久己

副委員長 櫻井勝

委員 大澤博克 河原崎士 植田浩之